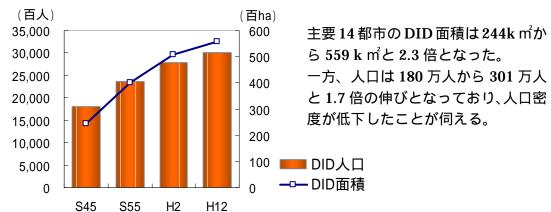
2.主要都市における DID 人口・面積・人口密度の変化



п2 п12

図:東北主要都市全体の DID 人口の変化

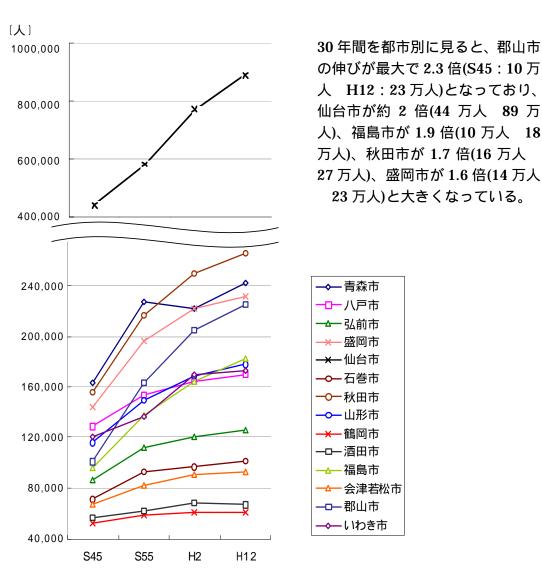
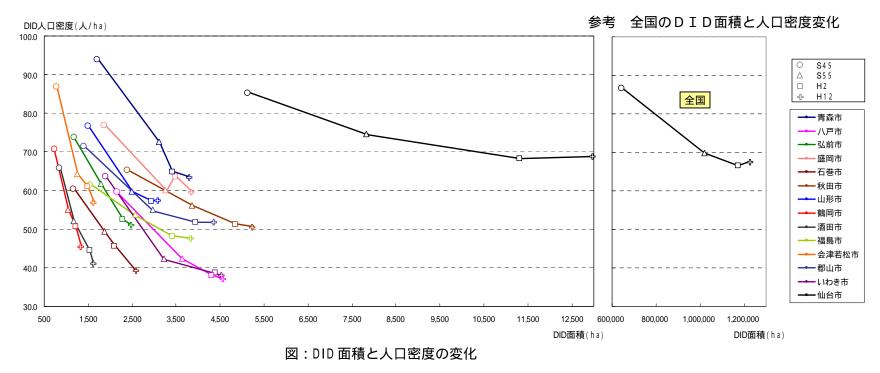


図:主要都市 DID 人口の変化

どの都市でもDID人口密度が低下する中で、DID面積の拡大が続いている。密度低下の割合が少ないのは、20%前後の減にとどまっている仙台市や、秋田・盛岡・福島市などである。一方、密度低下の割合が大きいのはいわき市や酒田、鶴岡市などで40%近く密度が減少している。特に、東北の多くの都市のDID人口密度は、全国の平均値を下廻っている。



DID 人口比率は、仙台市や秋田市が高く、80%を越えている。一方いわき市は 50%を割っている。どの都市でも、人口密度低下の中で、DID 人口比率は高くなってきている。

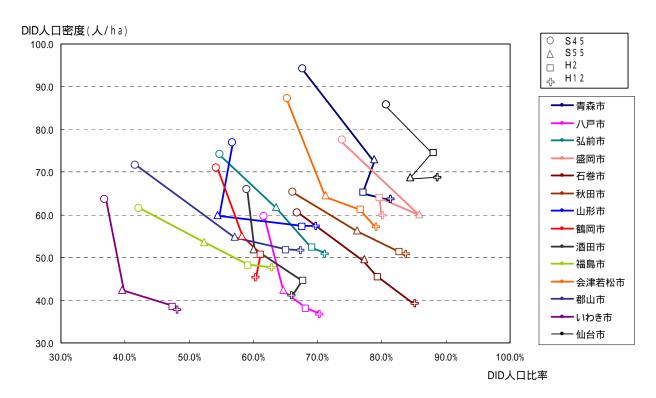


図:DID 人口比率と人口密度の変化

主要都市のDID面積・密度の変化

S45年

主要都市の DID 地区は主に主要駅を中心に拡大(スプロール化)してきた傾向がみられる。また、DID 地区が中心地(この場合主要駅近辺を指す)以外にある場合は、その間を埋めるように拡大してきた傾向もみ られる。DID 地区の面的な拡大は見られるものの、DID 地区内の人口密度は場所により異なる変化が生じてきた。人口密度は主に中心地における減少、その周辺部の増加という傾向に大きく分けられる。

メッシュ図の見方・・・S45、H12の各年において1k㎡メッシュを2,000(人/k㎡)ピッチのランクで示した後、S45~H12でどのくらいランクが増減したかを1k㎡メッシュ毎で表している。 3 ランク 3 (H 1 2) - 5 ランク 5 (S 4 5) = ─ ランク 2 減 となる。 ランク5 (例)青森市 メッシュ図凡例 ランク 人口密度範囲(人/km²) 8,000~ ランク3以上増 6,000~7,999 ■ ランク2増 ■ ランク1増 4,000~5,999 ランク 1 減 2,000~3,999 ランク2減 ■ ランク3以上減 1~1,999

H 1 2 年

